

## 学校経営推進費 評価報告書（1年目）

標記について、下記のとおり提出します。

## 1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	○希望進路実現率の向上 ○四年制大学進学者数の増加 ○資格取得者数の増加
計画名	「TRY! 東総プロジェクト」 ～ To Realize Your dream ～

## 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 確かな学力の育成</p> <p>(1) 総合学科の特長を生かした実業教育・キャリア教育を推進し、3年間の学びで総合的な学力を育てる。</p> <p>*平成31年度に進路未決定率を5%以下に、大学進学者数50人以上をめざす。</p> <p>(3) 「魅力ある授業づくり」をめざして、授業改善に組織的に取り組む。</p> <p>*学校教育自己診断の「学習に関する」項目の生徒評価（H28年度 64.7%）を毎年3%ずつ引き上げ、平成31年には70%以上にする。</p>
事業目標	<p>「TRYルーム」の創設（To Realize Your dream ルーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本校の平成28年度の進路未決定率は9.7%と総合学科に改編されて、初めて10%を下回った。現在、授業でほとんど使われていない「社会科教室」を「TRYルーム」として整備し、グループワーク学習を充実させ、生徒の「言葉と感情のコミュニケーション能力」を育成することで、本校のキャリア教育をより進化させる。「産業社会と人間」や学校設定科目等の授業において参加型授業を充実させる。もって、平成28年度の進路決定率90.3%を平成31年度には100%にする。</li> <li>平成28年度の本校の「学習に関する」項目の生徒の肯定的評価は、64.7%。「TRYルーム」を「アクティブラーニング」の拠点とし、「ICTを活用した授業」を推し進め、「アクティブラーニングの全体化」を図り、教員の授業力を向上させる。もって、生徒の肯定的評価を毎年5%ずつ引き上げ、平成31年度には80%以上にする。</li> <li>多様な進路実現の成功例として、平成30年5月に実施される全国総合学科校長会総会で、全国の総合学科に発信する。</li> </ul>
整備した 設備・物品(数量)	ワークテーブル21、チェア42、講演台1、ACボード2、インターフェイスボックス2、超短焦点液晶プロジェクター2、ノートPC1、タブレット端末1、タブレット充電保管庫1、壁面ホワイトボード2、床タイルカーペット貼り1、HDMI受信機、送信機各1、AV機器収納ラック1
取組みの 主担・実施者	<p>主担：「TRY! <sup>ひが そう</sup>東総!」プロジェクトチーム</p> <p>取組みの実施者：各系列長、各教科主任を中心に全教員で取り組む</p>
本年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>超短焦点液晶プロジェクターから壁面ホワイトボードに映し出された課題に対して、ワークテーブル、チェアを自在に組み合わせ「アクティブ・ラーニング型」の授業を展開した。</li> <li>授業担当者が生徒達に課題を与え、生徒たちはグループワークを行う。授業担当者は、生徒達の回答をスクリーンに投影し、参加者全員で回答や課題を共有し、次回のグループワークに活かしている。</li> <li>このワークテーブルはどのような組合せをしても、必ず円卓になる設計となっている。与えられた課題や議論する人数に応じてチェアやテーブルの配置を変化させ、熱い意見を飛び交わせ、グループワークを行っている。</li> </ul>
成果の検証方法 と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路未決定率（H28年度 9.7%）を7%以下にする。</li> <li>学校教育自己診断：「学習に関する」項目の生徒評価（H28年度64.7%）を70%以上にする。</li> <li>ICT機器を有効に活用して授業ができる教員を70%以上にする。</li> <li>資格取得者数（H28年度 247件）を280件以上にする。</li> </ul>
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路未決定率（H28年度9.7%）を7%以下にする。 ⇒進路未決定率：4.02%（9名/224名）(◎)</li> <li>学校教育自己診断：「学習に関する」項目の生徒評価（H28年度64.7%）を70%以上にする。 ⇒学校教育自己診断の「学習に関する」項目の生徒評価：71.3% (○)</li> <li>ICT機器を有効に活用して授業ができる教員を70%以上にする。 ⇒ICT機器を有効に活用して授業ができる教員：72.7%（44名/50名）(○)</li> <li>資格取得者数（H28年度247件）を280件以上にする。 ⇒資格取得者数：283件 (○)</li> </ul>
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>TRYルームの完成に時間を要したため、活用できた期間が短かった。次年度は、年間を通してTRYルームを活用した授業を展開する。また、放課後自習室としての利用や、資格支援センターとしても活用する。</li> <li>授業改善プロジェクトチームを中心に、教員の研究授業をTRYルームで行うとともに、ICT機器を活用した授業の校内研修を実施する。</li> </ul> <p>【次年度の評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進路未決定率（H29年度4.02%）を3.5%以下にする。</li> <li>学校教育自己診断：「学習に関する」項目の生徒評価（H29年度71.3%）を75%以上にする。</li> <li>ICT機器を有効に活用して授業ができる教員（H29年度72.7%）を80%以上にする。</li> <li>資格取得者数（H29年度283件）を310件以上にする。</li> </ul>